

GRASS ROOTSの冒険者たち

～ 深めよう! たどり着きたい未来に向かって ～

その11 (R04.05.20)

～自ら命を守る危機回避能力の育成～

令和4年度 芝根小学校の教育構想では、次の4項目を最重点項目にしています。

- ④一人一人を大切にする「個別最適な学び」と多様な考えを比較する「協働的な学び」の推進
- ⑦夢や希望を育む系統的なキャリア教育の推進
- ⑬生涯にわたって健康的な生活を送るために必要な力の育成
- ⑮自ら命を守る危機回避能力の育成

児童が学び、心身ともに成長するには「安全が守られること」が前提となります。また学校保健安全法29条には、学校は危険等発生時対処要領を作成し、訓練を実施することが記されています。

危険等発生時対処要領に関しては、毎年、見直しを図ることで、安全教育の推進、安全管理の徹底につなげています。なぜならば、時間の経過とともに安全を脅かす別の要素が増えたり、逆に発想の転換や技術革新により安全を守る手立ても変化したりするからです。

今回は、火災による避難訓練を実施しました。芝根小ホームページに掲載したとおり、児童も教職員も真剣に訓練をすることができました。素晴らしいことであると思います。

このような中でも、避難訓練に関する課題も出てきます。今回の避難訓練に関して、安全担当が教職員に「成果と課題」を提出するように呼びかけました。各教職員の役割分担を変更したり、誰かがいないときの対応を考えたりするなど、より実践的な訓練になるようにしていきたいと思っています。

また、エピペンの実技講習会については実施をしました。今後は、AEDの実技講習についても実施予定です。

このような訓練を通して、危機管理の知識や技能を高めるとともに、場面に応じて、教職員や児童が考え、判断し、最善の行動がとれるようにしていきたいと考えています。

ぜひ、ご家庭でも、いろいろな危険な場面について考えるように指導をしてください。危険に直面したとき、自ら考え、判断し、自分自身の身を守るお子さんになることは、とても大切なことですから。

★令和4年度 芝根小学校の教育構想は、5月中に配付予定です。

～避難訓練のお話～

今日の避難訓練は、どうでしたか。みなさんの行動を全て観ていたわけではないので、自分の行動を振り返ってもらいます。

去年、避難訓練を3つの段階に分けて考えてみました。2年生から6年生までは、聞いているはずですよ。

「0」と「1」と「？」です。何のことか、覚えていますか。

① まず、「0」の段階です。避難訓練が行われる前の振り返りです。災害が起きる前の準備は、とても大切です。次のことをいくつかできていたか、自分で確認しましょう。

- ① 普段から避難経路、逃げる道を確認していますか。
- ② 逃げるときに、気を付けることが言えますか。

② 次に、「1」の段階です。火災が起きたときの振り返りです。最初の行動で、運命が分かれるときもあります。また、自分で確認してみましょう。

- ③ 火災が起きた場所は、確認できましたか。
- ④ 「押さない、走らない、しゃべらない、戻らない」（お・は・し・も）は、守れましたか。

③ 最後に「？」の段階です。今日の訓練では、「？」と思ったことは、ないかもしれません。避難するようなことはない方がいいに決まっていますが、予期しないことが起きることもあります。

たとえば、大人がいないときに災害が起きたり、避難している途中で友達がけがをして歩けなくなったりすることがあるかもしれません。

このようなときに、みなさんはどのように考え、判断し、行動しますか。

「自分たちの命は、自分たちで守る」という意識をもって、行動してもらいたいです。

いつも、考える芝根小の子供たちであってほしいです。